

放置された里山の除伐で景観を取り戻した事例

事業名：里山保全活用支援事業

市町名：府中町

取組のきっかけ・経緯

・以前から、遊歩道沿いに広がる広葉樹林の、手入れがされておらず、密になり過ぎていたため、薄暗く、遊歩道を利用する地域住民から要望が出されていた。

今後の展開

・森林の健全化、公園の景観及び利用者の安心・安全を確保するため、管理道沿いの支障木・危険木の伐採をおこなう。

取組の内容

- ・事業主体：府中町
- ・実施場所：安芸郡府中町石コロヒ83
- ・業先：みくまりの森サポートクラブ
- ・業務量：0.50ha
- ・業務金額：300千円
- ・業務期間：令和元年6月1日
～令和2年3月31日

取組後の感想

【良かった点】

・事業実施後は、これまで木に遮られて薄暗かった広場が明るくなり地域住民の方からも、「きれいになった」との声が上がっている

【悪かった点】

・可能な限り、森林や樹木に関し知見を有する方々に意見を求め、慎重に選木(切る木・残す木)をしたが、今後は専門家の指導やアドバイスを得られるような体制を整備しなければならないと考えている。

